

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人事課
 担当名: スマートステーション担当
 内線: 7735 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業			
N33	スマートステーション運営費		一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	職員人事管理費			
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律 障害者の雇用の促進等に関する法律第38条		針路 分野施策	07 0703	誰もが活躍し共に生きる社会の実現 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール 8, 10 SDGsターゲット 8-5, 10-2, 10-3		
1 事業概要 スマートステーション「flat(フラット)」において、 庁内の定型業務等を集約し、ICTの活用等により効率的に 処理することで、生産性・創造性の向上を図り、「働き方改革」 を推進する。 スマートステーション運営費 節減による消耗品費等の減額 △3,521千円			5 事業説明 (1) 事業内容 スマートステーション運営費 28,371千円 → 24,850千円 スマートステーション「flat(フラット)」において、庁内の定型業務等を集約し、ICTの活用・標準化・一括 処理により処理することで効率化を図り、生産性・創造性を向上させ、「働き方改革」を推進する。 (2) 事業計画 令和2年度にグランドオープンしたスマートステーション「flat(フラット)」の継続的な運営により、令和6年度 もICT等の活用によるより一層の「働き方改革」の推進に寄与する。 (3) 事業効果 県庁版働き方改革を推進し、職員一人一人が創造的な仕事に専念できる時間を確保することにより、その能力を最 大限に発揮できる職場づくりを行い、県民サービスの向上を図る。 また、会計年度任用職員として障害者を雇用することで、障害者雇用の推進と庁内の障害者雇用の理解を深める。 (4) 補正予算の概要 節減による消耗品費等の減額							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円										
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額		
決定額	△3,521						△3,521	24,850		
現計額	28,371						28,371			

事業内訳書

事業名	スマートステーション運営費		
単位事業名	スマートステーション運営費	予算額	△ 3,521千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△3,521	—	
合計	△3,521	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△21	—	執行節減等による旅費の減
需用費	△3,000	—	執行節減等による需用費の減
役務費	△500	—	執行節減等による役務費の減
合計	△3,521	—	